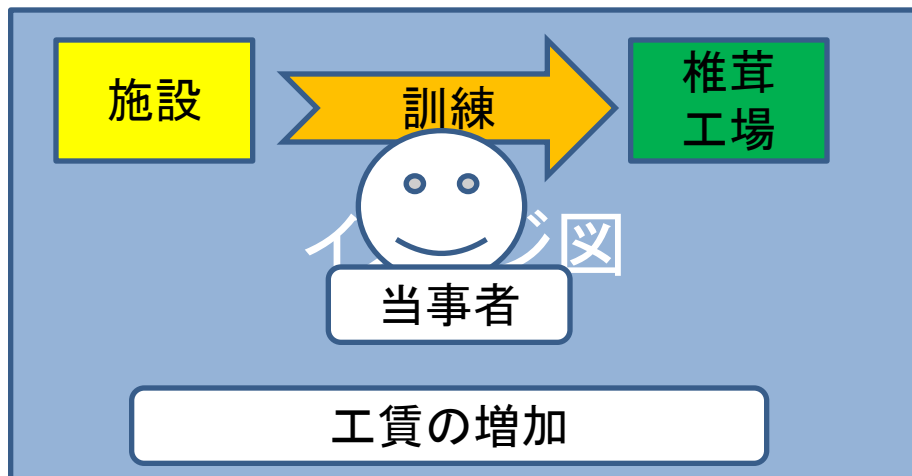


カテゴリ【3、4】

不要施設の活用、企業との連携

Point

 企業での未使用施設の再利用による椎茸栽培・販売。



事業実施のきっかけ、経緯

地元企業で未使用の施設(椎茸の菌床栽培)を賃貸契約し再利用する。販路は地元市場・個人販売などで売り上げ工賃を支給。

事業概要

施設職員が研修受講し、椎茸栽培についてのノウハウを得て当事者に伝達。菌床の入庫から育成・収穫、出荷販売を当事者とともに行う。

成果

野菜の育成による精神安定。
農業的な作業での流通の理解。
企業・地元関係者との連携強化
工賃の増加 など

今後の展望

安定した収穫と出荷。
販路の拡大。
利益向上。

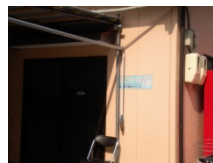
椎茸 菌床栽培 出荷



事業所より一言

椎茸だけでなくイチゴもハウスでつくっています。

本事例の事業所紹介



NPO法人 絆

〒

和歌山県田辺市芳養町3216-19

(事業所写真)

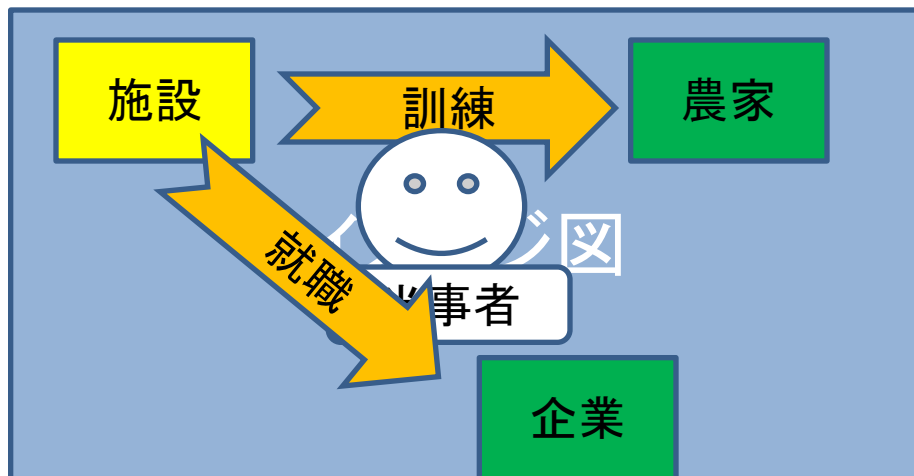
TEL 0739-26-5660 FAX 34-5677

カテゴリ【1】農業との連携

Point



施設外就労の活用
一般就労に向けた農事作業
地場産業での障がい者雇用促進



事業実施のきっかけ、経緯

当地域では基幹作業として梅栽培・加工がある。この業務に関して農事については後継者不足などの問題もあり高齢化での耕作ができていない農家に対しての作業提供を考えた。

事業概要

移行・B型を問わず施設外就労を受け入れ、訓練を提供。
繁忙期等に関しては請負での収穫作業等もおこなう。

成果

事業を通じて同業種への就職となったケースもある。
農業を通じての体力強化、収入を得ることでの就労意欲の向上。

今後の展望

成功ケースの増加により協力農家の拡充

施設外就労

梅取り 梅ひらい 加工補助



出荷補助



事業所より一言

地場産業の取り組みを始め、6年が経過します。
開始始めは、当事者の体力不足、一緒に働く方の障害理解等の不安も多くありましたが、当事者のやる気、地域の方達の共生サポートもあり、働き続けています。
仕事の安定を図る為、生活リズム、体調管理、金銭管理にも気を配るようになりました(笑)。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 やおき福祉会
すまいる作業所
〒645-0002
和歌山県日高郡みなべ町芝265-1

(事業所写真)

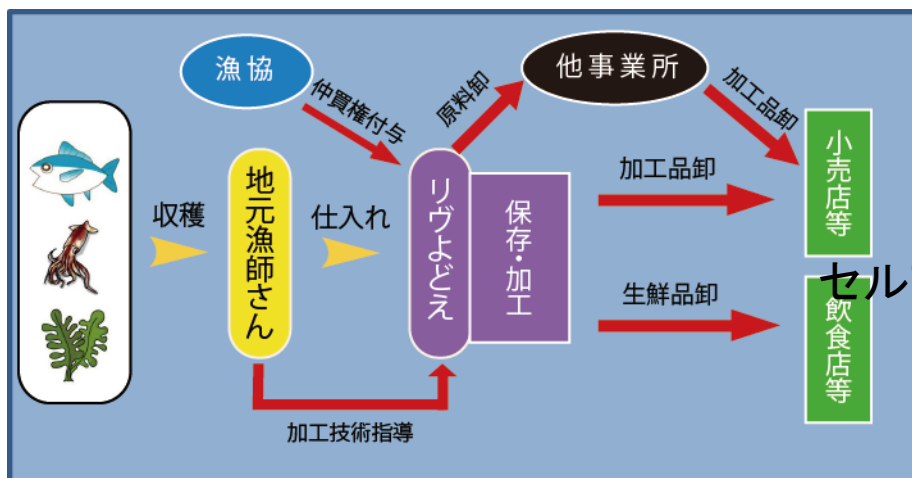
TEL 0739-72-5643 FAX 72-5843

【カテゴリ8】: 水福連携

【漁師さんと共に届ける日本海の幸！】

Point

- 地元漁師さん及び地元漁協と当事業所の連携実施
- 地元水産資源の有効活用
- 大都市圏の食品販売企業、地元福祉事業所との連携



事業実施のきっかけ、経緯

- 3年前、地元漁師さんからの依頼を受け「わかめ干し作業」を手伝うこととなり、同時に伝統的な加工方法を教習頂いたこと。
- 鳥取県漁連より「仲買権」を付与され、魚介類の直接仕入れが出来るようになったこと。
- 地元漁師さんの加工のための人員確保と当事業所の就労の機会作りがマッチングしたこと。
- 県基盤整備事業により魚介类等加工施設を設置し、魚介類販売許可を取得したこと。

事業概要

- 地元漁師さんから直接仕入れた「わかめ」「いぎす」「天草」等の海草類を乾燥加工し首都圏、近畿圏の小売店舗への卸売り実施。
- 地元漁師さんから直接仕入れた鮮魚を首都圏の飲食店舗への卸売り実施。
- 地元漁師さんから直接仕入れた「白いか」「あじ」等を乾燥加工し首都圏、近畿圏の小売店舗へ卸売りを実施。また、他事業所へそれらを原材料として卸売り実施。

成果

- 利用者さんと地元漁師さん、漁協関係者さんが仕事を通じ触れ合う場を持つこととなり、障がい者就労に対する理解を得ることが出来た。
- 利用者さんが地元漁師さん、漁協関係者さんより直接教授される加工方法、技術により漁業関連就労に係るスキルUPを図ることが出来た。
- 利用者さんが原料仕入れ→加工→包装・梱包→販売に係る商流理解、それらに係る技術習得が出来、且つ、利用者工賃確保に大きく寄与した。

今後の展望

- 商品販売専用のインターネットサイトを構築して更なる販売増加を目指し、利用者さん工賃増加、地元海産物の販売強化を図る。
- 地元漁協の協力を得、漁港エリアに魚介類販売所を設置して利用者さんの就労機会の増大と、地元海産物の販売強化を図る。



乾燥板わかめ製造風景



漁港での白いか下処理風景



漁港での白いか事前乾燥処理風景



活動拠点「御崎漁港」



生ワカメ処理風景



首都圏出荷用「さわら」



首都圏出荷用「カンパチ」



製品「板わかめ」

事業所より一言

本事業に関しましては、地元漁師さん、漁協関係者さんのご協力、ご支援の下、新鮮な商材提供そして技術指導、更には御崎漁協内への作業施設をご提供頂き、「出来る限り最高の商品を消費者の方へお届けする」という当事業所と漁師さん共通の目標を達成することが出来ました。利用者さんも「海に触れる」「港へ行く」ということが仕事に加え楽しみになりました。関係者の皆様へお礼申し上げます。

本事例の事業所紹介

NPO法人ライヴ（リヴよどえ）



〒689-3424
鳥取県米子市淀江町中間692番地
<http://www.live-y.jp>

TEL 0859-56-5789 FAX 0859-56-5789

【カテゴリー4】農行福連携

福祉のちからを地域おこしに！「天女の梨クーヘン」！

Point

- 障害者施設の人的資源と設備の活用
- 未利用農産資源の活用
- 町おこしとの連携（農業＋行政＋福祉）



フクシノチカラで
町おこし



湯梨浜町
天女キャラクター



事業実施のきっかけ、経緯

● 二十世紀梨の収穫期はたったの3週間。その間選果場では毎日10tの廃棄があり、その廃棄にもコストがかかる。私たちはその話を聞いて、「どーにかせんといけん」。ぱにーにが、障害者施設が、仕事として関われないのか？そして、「二十世紀梨を加工しよう」と自然に決まった。

● 弊社のりんごコンポートの製造技術を応用して、二十世紀梨で挑戦した。短期間しか食べる事のできない梨を、年間を通して提供できるような商品を作りたいかった。

事業概要

- 就労継続支援A型、B型、就労移行支援の多機能型作業所。株式会社として県下で初めてA型を設立。全国版「経営革新計画」承認。
- パン、菓子、ラスク、バウムクーヘン等の製菓・製パンに加え、ジャム、ケチャップ等農産加工品で原料製造から販売までを手掛ける製造小売業。
- ハーブやヨモギ等の自社農園。

成果

- 二十世紀梨を2t（25年度）購入。JAだけでなく、個人の梨農家との繋がりもできた。湯梨浜町以外の梨農家さんからも取引したいとの要望がある。
- スウィーツ甲子園鳥取県大会グランプリ受賞。湯梨浜町および鳥取県ふるさと納税のお返しの商品として採用される。イオンの全国巡回イベントの「物産オールスターズ」に選ばれる。
- 梨のコンポート加工、生地作り、包装にいたるまで、焼成以外の工程は利用者さんで実施されている。二十世紀梨のバウムクーヘンは全国でも珍しい商品になった。

今後の展望

- ギフト商品を強化し、商社やブライダルに対応することで、季節変動や地域性に影響されにくい、年間を通して安定して利用者の仕事と収入を確保できる体制にする。
- 理念の近い他の作業所と連携して、「農行福＋福」まで発展させたい。



そのままだと廃棄される20世紀梨



芯を1個ずつ取り除く



梨クーヘンの焼成



天女の梨クーヘン

事業所より一言

「障がい者施設だからこんなものしかできない」と言われたくない、障がい者を看板に商品を買いたくない。一流の商品を障がい者で作りたい。それが私たちの想い。それを形にしたものが今回の商品です。そういう私たちの活動が障がい者への理解に繋がるとと思っています。

本事例の事業所紹介

株式会社プレマスペース
(ぱにーに湯梨浜店・花見事業所)

〒689-0713
鳥取県東伯郡湯梨浜町旭27



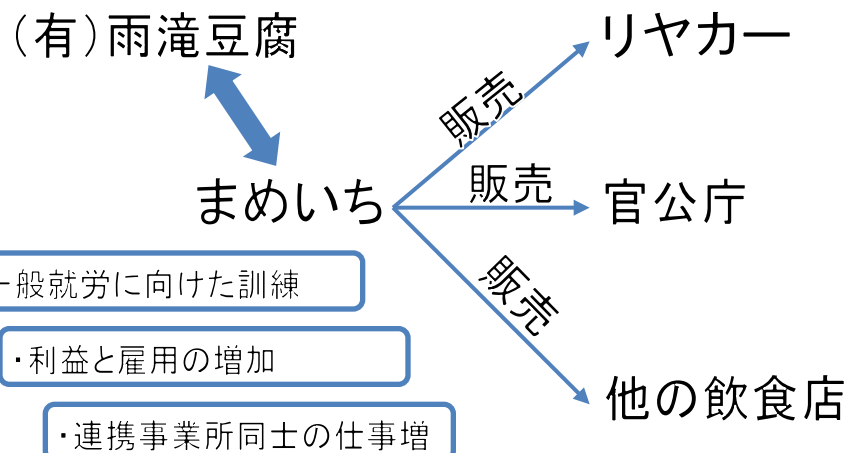
TEL 0858-24-4722 FAX 0858-24-4723

カテゴリー【2、4】高齢者支援、企業との連携 地域のお役立ちとふれあいを仕事に！

Point



- （有）雨滝豆腐さんの冬季の仕事の確保
- 利用者の方々の就労訓練と工賃アップ
- 買い物が困難な方々への救済



事業実施のきっかけ、経緯

●和貴の郷では、新たな就労訓練の場の検討と工賃アップを図っていく取り組みの中、冬季の仕事の確保ということで検討をされていた雨滝豆腐さんと意見が合い、鳥取市内に店舗を構えることとなる。（障がい者の就労に対して熱意のある社長）

●店を構えても長期的な売り上げに繋がる保障はないことから、豆腐やテイクアウトメニューをリヤカーで販売する事で、買い物が困難な方々へのためにもなればという思いから、リヤカーでの販売を始める。

事業概要

- 就労訓練の場、工賃アップ、仕事の確保ということで、平成23年12月12日に連携事業開始
- 平成24年8月より、和貴の郷単独事業になる
- 少しずつリヤカー台数を増やし、現在は5台稼動中。販売地域に定着し、地域貢献にも繋げつつ、利用者の工賃安定にもなっている。

成果

- 地域に密着し定着する事で店の知名度も上がり、豆腐の発注数が、以前の4倍となった。
- 連携により、（有）雨滝豆腐さんでは製造や販売が増えるとともに、新たな顧客の確保ができ、売り上げも知名度も増加。
- 和貴の郷も仕事が増えることで、収益が上がり、利用者の方々の工賃にも反映させることができています。

今後の展望

- リヤカー販売を行う中で、豆腐やテイクアウトメニュー以外の商品の問い合わせも多く寄せられる。そのことから、「御用聞き」ということで、お客様から豆腐以外で注文を受ければ、買い物代行して配達していくサービスを行っていく。

リヤカー準備



リヤカー販売①



リヤカー販売②



店舗外観



店内



事業所より一言

まめいちの店舗とリヤカー販売を通じて、接客の仕方、人とのコミュニケーションや仲間同士との協力の在り方を職員利用者関係なく、ともに考えられる職場です。個々が責任を持ちながら、働くことの楽しさと難しさも一緒に共有し、次に活かして行く事ができるよう日々努めています。

本事例の事業所紹介



豆腐と揚げだしの店『まめいち』

〒680-0833

鳥取県鳥取市末広温泉町623

TEL 兼FAX 0857-50-1112

NPO法人就労支援センター 和貴の郷

カテゴリー【4】企業との連携

地域の発展を願い、伝統のカステラと老舗酒造メーカーの日本酒を合わせたふるさとの味としてのスイーツを開発！

Point



- 「ほろ酔いかすていら」の開発
異業種とのコラボレーションによる新たな販路開拓
(老舗酒造メーカーの酒と懐かしい故郷の味により、
街の活性を目指す)
- 障がい者の雇用と収入増



事業実施のきっかけ、経緯

- 創業60年の老舗せんべい屋の事業を引き継ぎ、地域の文化としての「嫁せんべい」「学校せんべい」(校章の焼印)の伝統を守っている。
引き継いだ中で製造中止だった「家紋カステラ」を復活させた。
- 鳥取県の「新商品開発補助金」を活用し、「ほろ酔いかすていら」を開発。ターゲットを明確にし、お土産店、居酒屋で販売している。居酒屋では、デザートとして業務用も取り扱ってもらっている。酒造メーカーもお酒以外の商品として販路拡大に繋がっている。

事業概要

- デザイナー、食品コンサルタント、酒造メーカー、民間企業家、酒造メーカー、振興センター、フレンズで開発会議とお披露目会を開催
- フレンズ：かすていらの製造、販売
酒造メーカー：日本酒の納入、販売
- 取引先：JA直販店、道の駅、土産店、居酒屋等

成果

- フレンズ：新規の販売先が増えた
利用者にとっても新しい仕事に取り組める
- 販売店：新しい土産品ができた
- 酒造メーカー：減少傾向の日本酒の増に繋がる
お酒以外の商品として売り込むと同時に
お酒の販売増にもなる
- 居酒屋：デザートの材料としてお客様に提供できる

今後の展望

- 息の長い商品に育てたい！
- 地域の特産品として根付かせたい
- 商談会等に積極的に参加し販路拡大し雇用者を増やす

ほろ酔いかすていら



お披露目会の様子



新商品開発会議の様子



工場内の様子



居酒屋の
デザートとして



焼き加減が難しい



焼き上がった家紋カステラ！に地酒「八潮」にたっぷり漬け込む

事業所より一言

- 異業種との連携により、新たな販路に繋がった
- せんべい屋と日本酒がこんな形で連携できるとは考えてもいなかった
- いろいろな可能性に今後もチャレンジしていきたいです

本事例の事業所紹介



株式会社フレンズカンパニー
就労継続支援A型事業所 フレンズ



〒689-2205
鳥取県東伯郡北栄町瀬戸187

TEL・FAX 0858-37-5571

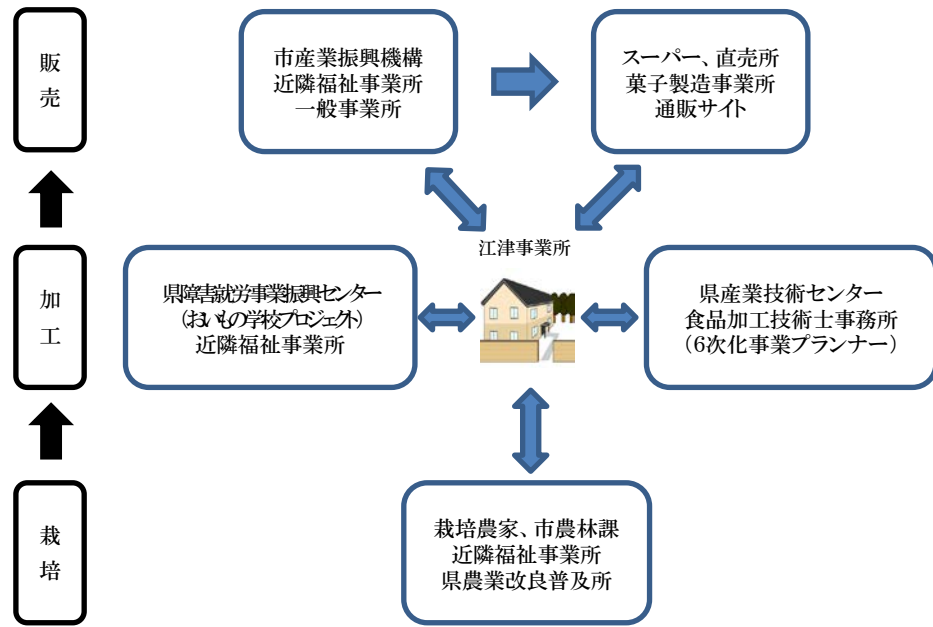
<http://friends-c.com>

【連携によるさつま芋の総合化事業 (6次産業化)をととした事業収入の向上】

Point



- 農業の総合化事業（6次産業化）による収入の向上
- 公共機関、一般企業との連携
- 地域の連携事業所全体の収入向上



事業実施のきっかけ、経緯

- 農業従事者の高齢化により近隣に耕作放棄地が沢山あり活用が求められた。
- 農業活動は、利用者の方の多様な活動ニーズに対応できる。
- 農業での事業収入の増、冬期の活動場面の確保には加工活動が不可欠。

事業概要

- 耕作放棄地の整備とさつま芋の栽培
- さつま芋の収穫及び焼き芋、干し芋、ペースト加工による商品化
- 公的機関や一般事業所等多数の機関との連携による商品の製造・販売

成果

- 冬期の活動が安定し、収入増が図られた
- 売れる商品づくりや販路拡大を図ることにより多数の連携事業所が確保できた
- 農業を総合事業化することにより工賃向上が実現した

今後の展望

- 既設の設備を活用し、食品製造に関する企業との新たな連携が期待できる
- 常温長期保存が可能な新商品の開発を図り、収入増が図られる
- 利用者の方の活動場面の多様化が図られ、一般就労が推進される



さつま芋 植付け



芋畑の管理(灌水)



干し芋の袋詰め



製品「焼き芋」



製品「干し芋」

事業所より一言

事業所の収入増を図るには、地域の多様な事業者や企業との連携が深められ、関係者全体の収入増が図られることを目指した事業展開が必要です。そして、地域発展の一翼を担う福祉事業所となるよう努力します。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人いわみ福祉会
ワークくわの木江津事業所

〒695-0011

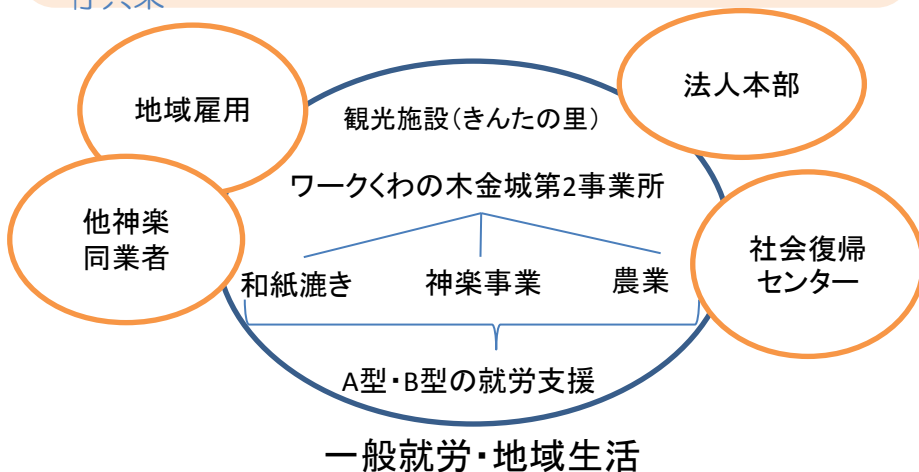
島根県江津市江津町1110-20

TEL (0855)52-2806 FAX(0855)52-2807

【地域と連携した伝統芸能“石見神楽” のものづくりと障害者支援】

Point

- 石見神楽に必要な衣装等の製作と安定供給
- 幅広い工賃・賃金体系による作業提供と障害者就労
- 地域雇用や地域同業者・地域資源との連携による共存共栄



事業実施のきっかけ、経緯

●伝統芸能“石見神楽”が盛んな地域。観光振興としても近年、石見神楽公演は人気が高い。一方、伝統産業を支える職人は高齢化・廃業をたどる。障害者の特性を生かしものづくりを通して就労や訓練、社会自立を支える作業種目として蛇胴づくり・神楽面・衣装製作・染物製作に着目した。

●石州和紙生産が盛んな地域。石見神楽の蛇胴や神楽面・衣装にはこうぞを原料とした強靱な和紙が使われてきた。当事業所で原料から一貫生産した和紙を使うことで障害者の就労と安定供給を目指す。

事業概要

- 就労継続支援A型・B型サービスを行い、障害者の雇用と訓練の場を提供する。
- 石見神楽に必要な蛇胴・神楽面・衣装・道具等を親切・丁寧・適正価格で生産し、伝統芸能の継承・発展に貢献する。
- 地域住民の雇用を図り、子育て世代～働く世代のニーズを満たし、障害者との共生を自然体で行う。
- 地域の同業他社との連携を大事にし、共存共栄を目指す。

成果

- 神楽業界では最大手。観光・福祉・ものづくりの機能を果たす。
- 石見神楽にとどまらず、九州～北海道の神楽や伝統芸能、大衆劇団など幅広い顧客へ浸透している。
- 幅広い作業種に従事することができ、障害者の特性に合わせて作業提供を行う。
- A型利用者は社会自立ができる賃金支給を行い、B型利用者は1.5万円～6万円の工賃体系の中で目標に応じたサービス展開が実施できている。
- 社会復帰促進センターに作業の一部を委託する。

今後の展望

- 京都より仕入れる商品の一部を自主生産化（技術開発）し、障害者の作業種目として開発・提供したい。
- 石見神楽の顧客ニーズを満たし、さらに全国の伝統芸能等に必要な商品の提供に向け私たちのものづくり技術で貢献・発展させたい。
- 当事業所に必要な和紙全量生産（500万円規模）を目指し、さらに和紙工芸品の開発や全国の祭り等に必要な和紙供給を目指したい。



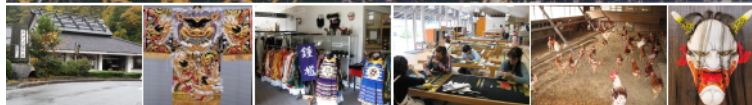
絢爛豪華な刺繍衣装



刺繍作業の様子



和紙あき



代表演目：大蛇

事業所より一言

地域のニーズを大事にし、障害者のよりよい就労支援に努めています。障害の有無や老若男女に関わらず、私達の事業を通して共生社会の一助となれればと思います。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人いわみ福祉会
ワークくわの木金城第2事業所
〒697-0121
島根県浜田市金城町下来原
1541 - 8

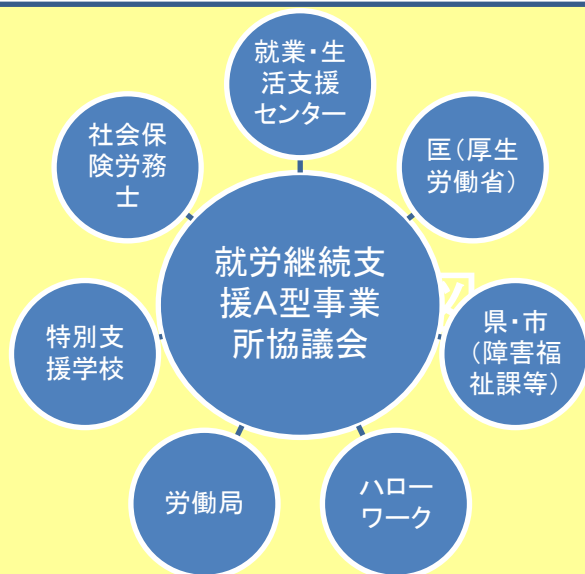
TEL 0855-42-0039

FAX0855-42-0076

【就労継続支援A型事業所協議会の取り組み】

Point

- 事業所間や関係機関との情報共有や連携
- 国や県に対して制度や政策についての要望等の働きかけ



事業実施のきっかけ、経緯

- A型事業者の交流及び勉強会をもって事業者及び職員のレベルアップを図り、障害者の自立と福祉の増進を図ることを目的として平成21年2月に設立

事業概要

- A型事業所間や関係機関との情報交換会や講師を招いての勉強会を定期的に行う。
- 協議会で提起された課題や問題点、制度や政策についての要望等を国や県等に対して働きかける。
- 新規事業所に対して開設から運営まで相談に応じ助言等を行っていく。

成果

- 特に農業関係のA型事業所が増えてきており、精神障害者の雇用の増加につながっている。また同業種間や県との連携により助成金等の情報を得る機会にもつながっている。
- 一般企業がA型事業所を立ち上げるケースが多く、福祉面での経験や情報に乏しいが、申請や障害者雇用について相談・助言・情報提供を行うことで、正しい運営につながっている。

今後の展望

- 法人化したことで今後も国や県に対し要望等により積極的に働きかけていき障害者雇用の促進につなげたいと考えている。

協議会定例会議



支援機関との情報交換会



厚労省専門官との意見交換会



本事例の事業所紹介：事務局事業所
NPO法人 ホープ就労生活支援センター



特定非営利活動法人就労継続
支援A型事業所協議会

〒700-0941

岡山県岡山市北区青江5-1-7

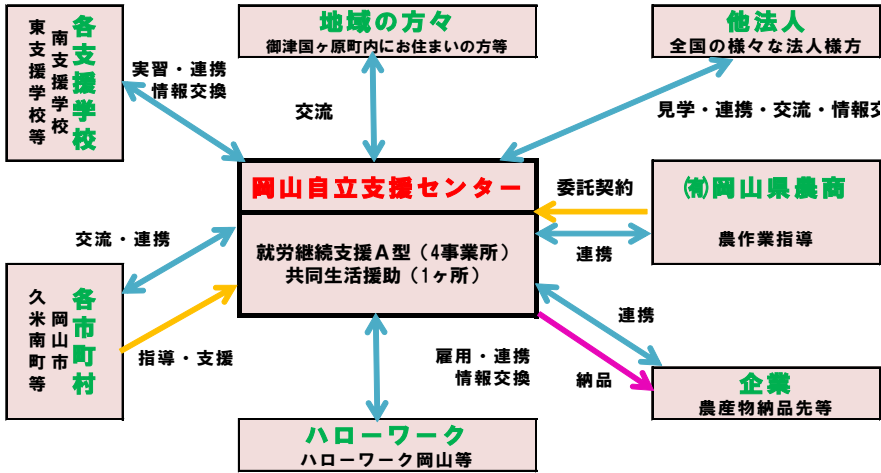
TEL 086-224-7677

FAX 086-232-1556

【農業と福祉の連携が生み出す可能性】

Point

- 農業・福祉・企業・地域との連携
- 積極的な社会参加・新たな取り組みへの挑戦



事業実施のきっかけ、経緯

- 農業と福祉が連携をすることで障害者の働く場の提供がより多く可能になり、更に障害者への理解を深めることができる。相対して農業にも新たな取り組みの一步になる可能性に繋げるため。
- 高齢・過疎化にある久米南町の誕生寺支援学校より「地元に障害者の自立を目的とした事業所」誘致の要望があった。その後、当法人に依頼があり協議のもと久米南町役場、誕生寺支援学校、地域の方々、企業と連携を図り就労支援A型事業所もっこくめなんの設立を行う。(2013.07)

事業概要

- 就労継続支援A型事業所紹介
平成21年4月～もっこくおかやま（障がい者14名）
平成22年4月～もっこくみつ（障がい者21名）
平成24年7月～きびっ子おかやま（障がい者17名）
平成25年7月～もっこくくめなん（障がい者14名）
- 自作農産物の生産・加工・販売（20ヶ所に配達）
（青ネギ・ミニトマト・カットネギ・里芋等）

成果

- メインとなる農産物だけではなく様々な種類の農産物が生産可能となった。
- 生産・加工・販売・配達など、個々の能力に応じた幅広い作業の確保により利用者の満足度が得られた。
- 地域の活性化と労働人口の確保に繋がっている。
- 多くの法人が全国から見学や視察に訪れ、交流の輪が広がっている。

今後の展望

- 農産物の販路を更に増やすことで、障がい者の方々の賃金アップを図り、作業内容も充実させていきたい。
- 障がい者の方々のQOLの向上に貢献できるよう、日々努めて支援していくことが当法人の課題であり目標であります。



ミニトマトの収穫作業



赤い羽根共同募金活動



楽しく配達する利用者の様子



みんなで行う朝のラジオ体操

事業所より一言

今後より一層様々な取組みに挑戦し、農業にとっても福祉にとってもより良い環境作りができるよう努力していきます。

本事例の事業所紹介



特定非営利活動法人
岡山自立支援センター

〒701-2155
岡山市北区中原45-1

(事業所写真)

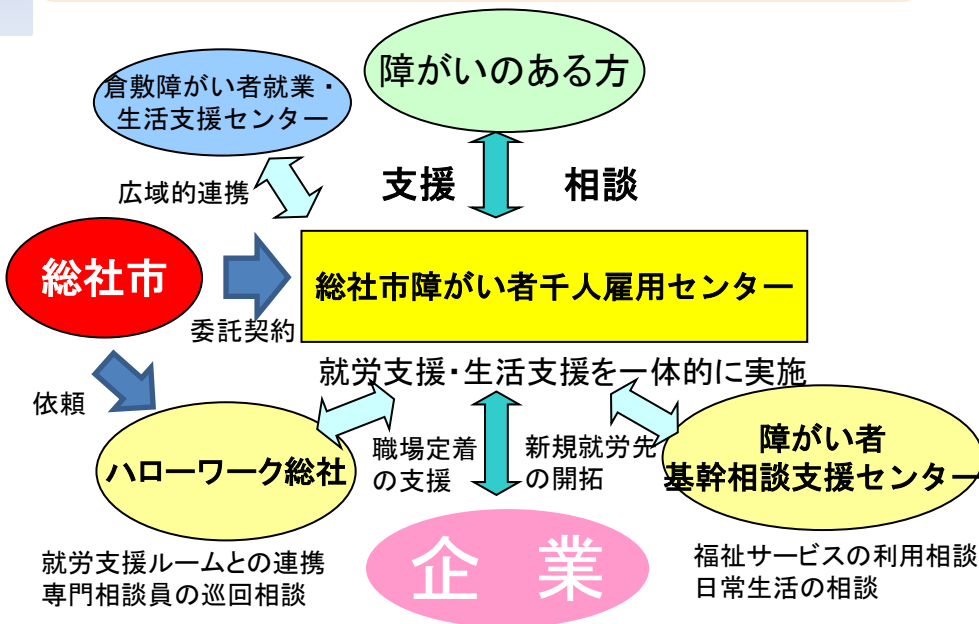
TEL 086-275-8333 FAX 086-275-0003

【総社市障がい者千人雇用センターの取組】

Point



- 自治体とハローワークの連携
- 単市事業としては全国初の試み



事業実施のきっかけ、経緯

- 岡山県総社市では、平成23年12月総社市障がい者千人雇用推進条例を制定し、総社市内での障がい者雇用を自治体自ら積極的に推進している。
- もともと地域活動支援センターⅠ型、基幹相談支援センターを受託していた総社市社会福祉協議会内に「総社市障がい者千人雇用センター」を設置し障がい者就業・生活支援センターと同等のサポートをおこなう。

事業概要

- 総社市が平成23～27年度までの5年間で一般就労（企業等による雇用）と福祉的就労（障害者総合支援法に基づく就労）を合わせて1,000人の障がい者就労を目指す取り組み。
総社市の人口は、67,711人。（平成26年2月末）
- 障がい者と企業の橋渡し役として、新たな就業者を増やしていくとともに、就労中の障がい者の就業面・生活面について、障がい者・企業の双方をサポートする。

成果

- 積極的な広報・啓発の実施（市の広報誌など）
「総社市で福祉的就労事業所を立ち上げよう。」「うちの企業でも雇ってみよう。」という声もあがってきている。
福祉的就労事業所の増加 ⇒ 23年秋まで1つもなかった就労継続A型事業所が5ヵ所誕生。
- 独自の就職面接会の開催
市が主催となり、総社地区雇用開発協会、ハローワーク総社、総社商工会議所との共催により独自の就職面接会を実施。23年度より毎年開催。通算3回実施。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会
総社市障がい者千人雇用センター

〒719-1131
岡山県総社市中央一丁目1番3号
総社市総合福祉センター内

TEL 0866-92-8379 FAX0866-92-8284

市広報誌「広報そうじゃ」より

暮らしに役立つ情報紙
広報そうじゃ
5
2012
No.86
わたしたちが暮らすまち
わたしたちが実行するまち

障がい者雇用 1000人目指します!

食糧と障がい者の関係に
障がい者千人雇用センター始動
さらに利用しやすく
雪舟くんモデルチェンジ

清水 聡 さん (障がい者) **ロンドンオリンピック出場決定!**

今月の主な内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平成24年度第1回市民健康調査結果が発表される	6	14	18	24	28	31	33	34				
障がい者雇用1000人を目指す												
雪舟くんモデルチェンジ												
ロンドンオリンピック出場決定!												



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



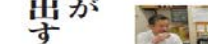
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



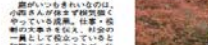
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



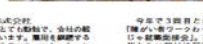
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



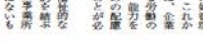
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



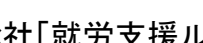
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



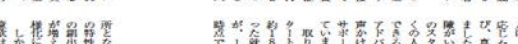
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



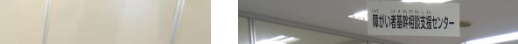
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



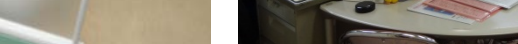
障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。



障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。障がい者雇用1000人を目指す。

障がい者就職面接会の様子



ハローワーク総社「就労支援ルーム」での様子



センター内の様子



【農業での地域との連携】

Point



- 地域の高齢化による休耕田の活用による地域の活性化
- 請負作業による地域との連携
- 利用者の体力、持続力の向上

・販売 ・請負 ・小作料

事業所

(地域への貢献)
(収入のアップ)



地域

(高齢化)
(担い手不足)
(休耕田の増加)

・貸借地 ・請負依頼

事業実施のきっかけ、経緯

- 入所授産施設の作業として取り組む
- 平成23年度より就労移行支援事業所に作業を移管

事業概要

- 約7haの圃場 利用者10名、職員2名
ライスセンター、育苗センター、他大型農業機械
- 法人、他団体に契約販売
非常用備蓄米の確保
- 苗販売の請負
- 乾燥・調整、草刈、その他農作業の請負

成果

- 休耕田を活用する事により地域集落の活性化に貢献できる
- 請負作業を拡大する事により工賃が向上するとともに高齢化する地域の農業を支える
- 床土を独自にブレンド等によりコスト削減が図れる
- 地域から必要とされる(頼られる)



今後の展望

- 土壌調査・改良を行い品質向上を図り付加価値の高いコメを生産する
- 地域と、より連携を深めて地域全体の活性化につなげる



本事例の事業所紹介



(事業所写真)

社会福祉法人 みどりの町

〒729-1322

広島県三原市大和町箱川1470-2

TEL 0847-34-1010 FAX 0847-34-0976

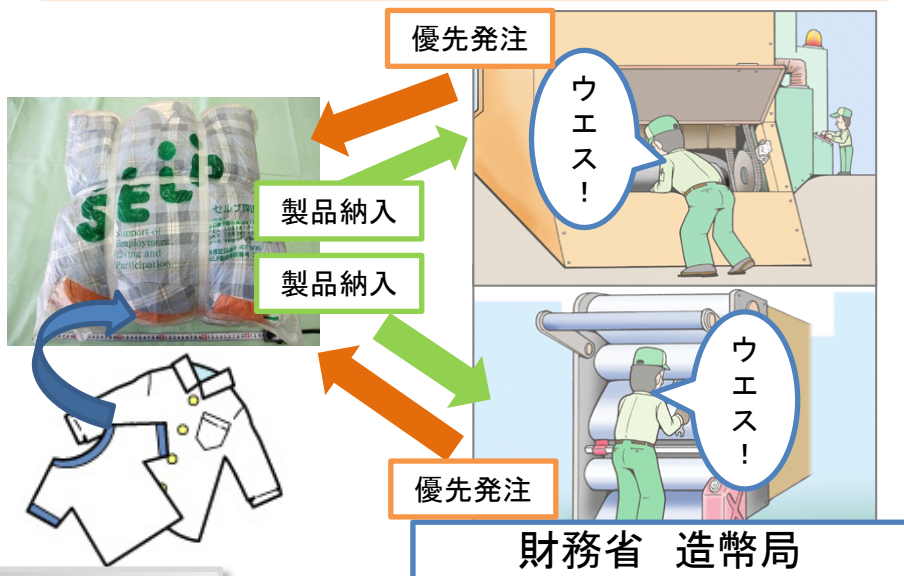
優先
調達

再資
源化

就労継続支援B型事業のウエス事業で工賃向上。造幣局が使うウエスに優先調達！！

Point

- 衣類のリサイクル。ウエス事業で工賃向上
- 造幣局が優先調達発注
- 全国の就労継続のウエス事業に波及期待



本事例の背景

- 全国の平均工賃が13,586円（平成23年度）。セルプ藤山の平成23年度の平均工賃は32,000円であり年々向上している。
- 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律は、障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就業する障害者の経済面の自立を進めるため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公機関が、物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的・積極的に購入することを推進するために制定された。

本事例おける、それぞれの役割や経過

セルプ藤山

- 就労継続支援B型事業所。利用者にウエスの製造販売を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練を提供ことを目的としている。
- 当事業所は、誰でも携わって頂き、楽しみながら働ける事業所を目指しているが、一方でウエスの技能検定を実施し、利用者の技能を細かく評価することにより、利用者の目的意識や意欲の向上を図っている。
- 重度な障害を持つ利用者のために、「ウエスを作る作業」なら、大まかであり取り組める人も多いと考え、20年以上前から取り組む。現在では、法人の基幹事業となる。

財務省 造幣局

- 紙幣の印刷には、必ずウエスが必要である。福祉事業所に発注することで、優先調達のモデル事例となる。

本事例における効果

- 本事例の成功により、更にウエスの発注量を増やし、全国のウエス事業を行う福祉事業所からの発注を目指している。拡大の可能性はある。
- 優先発注による事業所の安定的な工賃向上と、国に役立っているという利用者の意欲につながる。

「セルプ藤山」の事業所紹介



社会福祉法人 南風荘 セルプ藤山
(就労継続支援B型)

所在地

〒755-0808

山口県宇部市西平原4丁目2342番1